

# 大阪湾に軍艦 12隻が集結！

大阪湾、淡路島沖で、護衛艦、掃海艇、輸送艦、砕氷艦、航空機などが出動展開。

市民に「軍事演習」訓練の体験公開で自衛隊アピール！の計画です。

大阪市は「大阪港平和利用決議」を守り、港湾の軍事使用を認めるな

展示訓練と称する大規模な軍事演習反対！

大阪港に軍艦はいらない！

海上自衛隊呉地方隊が、大阪湾、淡路島東方沖で軍艦や航空ヘリなどを出動し、一般市民を乗艦させ、大規模な「軍事演習」の展示を行っています。台風や大雨で死者や行方不明者を出すなど大きな被害を受けている地元、和歌山の市民から、「こんな時になぜ軍事訓練か！」と怒りの声もあがっています。



(呉地方隊ホームページより)

—入港に関する大阪市交渉（21日）での説明から—

これが「大阪港平和利用決議」を  
遵守するという市の立場？！

「港湾の管理運営上支障がない限り使用を認めることとしております」「これまで許可した展示訓練と変わらないことから、従前と同じく許可する方向」との回答。

「日米同盟の深化」を掲げた民主党政権は、その公約に反して、アメリカ言いなりに沖縄の名護・辺野古への新基地建設や基地の拡充強化に躍起となっています。

また、東日本大震災における米軍の「トモタチ作戦」支援などをアピールしながら日米軍事一体化が進められています。そうしたもとで財政危機に陥っているアメリカの軍事的肩代わりを日本が担っています。

その一環として、九州以南から沖縄本島、さらに宮古、石垣島、与那国島など南西諸島への自衛隊配備、基地強化、「軍事要塞化」の動きが強まっています。

こうした自衛隊の動きが中国など近隣諸国との緊張を高めることは必至です。

**港湾の使用許可権限を持つ**

**大阪市長・市当局は拒否せよ！**

平和な大阪港湾を軍事演習に利用することを見逃すことはできません。

今こそ、大阪市長、港湾当局は、全会一致の市議会「平和利用決議」（1994年に採択）を尊重し、平和な商業貿易港として、キッパリ軍事使用を拒否すべきではないでしょうか。